

平成 27 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

課題「子育て」

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・子育てについての区民モニター調査（平成 25 年度）
 - ①子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度：42.3%
 - ②小学校就学前の子育てに関することで、困ったときの相談先の割合（複数回答可）<上位項目>
 - 家族・親戚・知人等：85.9% / 幼稚園・保育所（園）：39.7% / 子育て支援センター・子ども子育てプラザ：20.5% / 区役所：19.2% / こども相談センター：10.3% / 地域子育てサークル：7.7%
 - ③東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したことのある割合
 - 参加したことがある：51.3% / 参加したことがない：48.7%（無回答含む）
- ・平成 26 年 4 月 1 日現在 保育所待機児童：0 人

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

- ・子育て世代に対する地域や行政の取り組みへの満足度は昨年度より増えているものの、半数以下と低いため、子育て支援関係者・関係団体といっそう連携し、子育て世代の要望や地域実情を把握し、子育て支援の取り組みを充実していく必要がある。
- ・地域の子育て支援機関における子育て相談の割合が低く、行政や地域の子育て支援事業への参加についても約半数と少ない。相談機会や子育て支援事業の情報が子育て世代に知られておらず、また利用されていないため、支援をする子育て家庭への十分な支援が行き届いていない。子育て支援の取り組みの充実とともに、利用しやすい仕組みの充実を図る必要がある。
- ・年度当初の保育所待機児童は 0 人であるが、保留となった児童や途中入所できていない児童がいるため、要望に対応した保育所（入所枠）の確保が必要である。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・核家族化や地域コミュニティの希薄化により子育てが孤立化しやすく、子育てに不安感や負担感を感じる子育て家庭も多い現状の中で、子育て家庭の満足度を高め、安心して子育てできるよう、身近な相談・支援体制の充実や、さまざまな機会や多様な媒体を活用した情報提供に努めるとともに、地域社会全体で子育て中の保護者を支援する仕組みを充実していく必要がある。
- ・仕事と子育ての両立支援が図られるよう、保育所待機児童ゼロの状況を維持していく必要がある。

平成 26 年度東成区運営方針

主な取組みの課題と改善策（平成 26 年度中間振り返り）

- 主な取組み名【子育てネットワーク構築支援事業】
 - ・7 月に地域子育てサークル合同イベント（149 組親子）や子育て応援隊事業（2 回 18 組親子）の開催。「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」新規登録者数：160 名（8 月末現在）
 - ⇒ 課題：新規登録者数は概ね予定通り進捗。保護者と地域の子育て支援の方々とのつながりづくりのため、登録者をいっそう拡充する方策を検討する必要がある。
 - ⇒ 改善策：新規登録に伴う付加価値を付加する方策を検討し、実施していく。
- 主な取組み名【なにわっ子すくすくスタート事業】
 - ・子育て支援情報誌、編集会議：1 回実施
 - ⇒ 課題：子育て情報充実のため、子育て中の保護者の要望を反映した内容にしていく必要がある。
 - ⇒ 改善策：応援隊事業の充実等により、子育てボランティア、子育て中の保護者の参加を促す。
- 主な取組み名【保育所待機児童の解消】
 - ・平成 26 年 10 月 1 日小規模保育「東中本みらい保育園」開設予定。
 - ⇒ 課題：小規模保育開設に向け、待機児童家庭へ周知を図る。
 - ⇒ 改善策：個別案内や施設説明会の開催等、該当家庭への案内に取り組む。

平成 27 年度東成区運営方針策定の方向性

区役所が考える方向性

【めざすべき将来像】（概ね 10 ~ 20 年間を念頭に設定）

- ・子育て支援情報が行き届いており、かつ子育てに悩んだ場合に身近に相談できるところがあるなど安心して子育てできる。
- ・行政、関係機関、地域等の連携により地域社会全体で子どもや子育てを支援する取り組みが充実し、子育て家庭の満足度が高い。
- ・仕事と子育てが両立できる環境が整備され、生活様式に応じて安心して子育てができる。

【めざす状態】（概ね 3 ~ 5 年間を念頭に設定）

- ・身近な地域での相談・支援体制や情報提供を充実することにより、子育ての不安が軽減され、安心して子育てできる。
- ・待機児童の解消を維持し、子育て家庭の要望や地域の実情に応じた保育を提供することにより、仕事と子育ての両立支援が図られる。

●子育て支援関係者・関係団体と連携し、子育て支援の取り組みの一層の充実を図るとともに、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」を充実する。

●保育に関する要望をふまえ、年間を通じて民間保育所へ入所枠の拡大を働きかけるとともに、小規模保育事業の実施等により待機児童の解消を図る。

平成 27 年度東成区運営方針策定の方向性

区民のみなさまが考える方向性

（メモ欄としてご自由にお使い下さい。）